

2019年度(第26回)

中部ミッドシニアゴルフ選手権競技 競技規定

中部ゴルフ連盟

本 戦

競技日程 会 場	9月5日(木)・6日(金) 愛知カンツリー倶楽部 〒465-0067 名古屋市名東区猪高町高針字山ノ中20-1 Tel 052-701-1161
競技規則 競技委員会の 裁定	日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技ローカルルールを適用する。 競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
競技方法	9月5日(木) 第1ラウンド 18ホール・ストロークプレー 18ホールを終わり上位100位タイまでの者が、第2ラウンド進出する。 9月6日(金) 第2ラウンド 18ホール・ストロークプレー ※ 但し、天候その他の都合により競技方法を変更することがある。 ※ 第2ラウンドへの進出者が競技委員長によって発表された後、第1ラウンドのスコアが規則3-3b(3)例外に基づいて修正される者や、競技失格、棄権となる者が出たことにより100位タイストローク数に変更があった場合でも第2ラウンドに進出するプレーヤーは追加しない。また組み合わせ発表前に正式にスコアカードを受理された棄権者はそれまでの順位から除外しない。
タイの決定	36ホールを終わり第1位タイの場合は、即日委員の指定するホールにおいてホールバイホールによるプレーオフを行い優勝者を決定する。
使用クラブと 使用球の規格	(1) 適合ドライバーヘッドリスト(ローカルルールひな型8G-1)を適用する。 (2) 溝とパンチマークの規格(ローカルルールひな型8G-2)を適用する。 (3) 適合球リスト(ローカルルールひな型8G-3)を適用する。
キャディー	規則10.3aは次のように修正される;プレーヤーはラウンド中に競技委員会が指定した者以外を自分のキャディーとして使ってはならない。本条件の違反の罰は、ローカルルールひな型8H-1.2を適用。 ※なお、プレー形式は共有のキャディーとなります。
競技終了時点	本選手権競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
参加資格	下記の(1)~(9)に該当する昭和29年(1954年)12月31日以前に誕生した男子アマチュアでJGA/USGAハンディキャップインデックスを所持している者。 (1)各地区予選通過者 (2)前年度 中部ミッドシニア 上位5位 (3)前年度 中部グランドシニア 優勝者 (4)前年度 中部シニア 上位5位(年齢基準該当者)

- (5)前年度 日本シニア 上位10位
(中部地区管内で年齢基準該当者)
- (6)前年度 日本ミッドシニア 上位10位(中部地区管内)
- (7)前年度 日本グランドシニア 上位5位(中部地区管内)
- (8)前年度 中部日本ミッドシニアアマチュアゴルフフェーズ 優勝者
- (9)前年度 全日本ミッドシニアアマチュアゴルフフェーズ
優勝者(中部地区管内)
- (10)中部ゴルフ連盟特別承認者

- ※1 本競技の上位者は日本ミッドシニアゴルフ選手権競技の出場資格が付与されるため、本年度他地区連盟主催の日本ミッドシニアゴルフ選手権競技の選手選考になる競技に参加申込をした者は、参加を認めない。
- ※2 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。なお、競技委員会は、プレーヤーが次のいずれか一にでも該当する場合(ただし、これらに限られない)、当該プレーヤーを出場に相応しくないとプレーヤーと判断するものとする。
- ①暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等その他これらに準ずる者に該当することが判明したとき。
- ②自ら又は第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的な責任を超えた不当な要求行為、取引に関して、脅迫的な言動し、又は暴力を用いる行為、風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為その他これらに準ずる行為を行ったことのある者であることが判明したとき。
- ※3 予選免除者が予選に出場した場合は予選免除の権利を放棄したものとみなす。
- ※4 参加資格(10)の中部ゴルフ連盟特別承認者については、JGA/USGAハンディキャップインデックスを所持していなくても参加を承認することがある。
- ※5 中部シニアゴルフ選手権競技・中部グランドシニアゴルフ選手権競技と重複参加可。

参加料振込期間

本年度より予選通過者は、本戦に『自動エントリー』となります。

予選通過者 6月7日(金)確定後～8月7日(水)午後5時

- ※ **本戦出場を辞退する選手は、各倶楽部、パ協に申し出て各団体にて『出場辞退』のFAXを8月7日(水)までに送信すること。(FAX 052-561-7972)**

参加申込期間
参加申込

予選免除者 4月10日(水)午前10時～5月8日(水)午後5時

本年度より予選通過者は、本戦に『自動エントリー』となります。

予選通過者の参加料は、各倶楽部、パ協でとりまとめて8月7日(水)までに振り込みをすること。

本戦出場を辞退する選手は、各倶楽部、パ協に申し出て各団体にて『出場辞退』のFAXを8月7日(水)までに送信すること。(FAX 052-561-7972)

- 予選免除者は、所属倶楽部または中部日本パブリックゴルフ協会(パ協)に参加料を添えて申し込むこと。各倶楽部・パ協は申込者を取りまとめ、4月10日(水)午前10時～5月8日(水)午後5時までに、CGAホームページ関係者専用入口から申し込むこと。競技参加料

	<p>は申込締切日までに必ず入金すること。申込締切日までに、入金の確認が出来なければ、参加申し込みを取り消す。(※グリッドナンバー(Glid No)は参加申込時に必ず入力すること。)</p>
競技参加料	<p>予選通過者 19,440円(参加料および消費税) 予選免除者 19,440円(参加料および消費税) 振込先 「三菱UFJ銀行 名古屋駅前支店 普通預金 1791707 中部ゴルフ連盟」</p>
競技当日費用表 表彰参加賞 指定練習日	<p>注：締切日以後の参加取り消しの場合、参加料は返金しない。 連盟料金(会場倶楽部会員並扱い)とする。 優勝(賞杯) 2位～5位(銀皿) 全員に記念品 8月30日(金)・9月3日(火)・4日(水)とし、1人2日間まで連盟料金(会場倶楽部会員並扱い)とする。前もって会場に申し込み予約すること。なお、キャンセルする際は、会場の規定によりキャンセル料が掛かる場合がある。予約時に会場に確認すること。また、練習ラウンドは1個の球でプレーすること。</p>
付記	<p>11月7日(木)・8日(金)に愛媛県の滝の宮カントリークラブ(別子・赤石コース)で開催の日本ミッドシニアゴルフ選手権競技への出場資格(地区割当数)は、上位14名とする。 ※ ただし、タイが生じた場合は、最終ラウンドスコアにより決定する。最終ラウンドスコアもタイが生じた場合は、最終ラウンドスコアのマッチングスコアカードにより決定する。マッチングスコアカードで順位が決定しない場合は、「委員会によるくじ引き」によって決定する。欠場者が出た際は次位の者を繰り上げる。(シード選手は別枠としない) 注) マッチングスコアカードの方法は、10番～18番の合計スコア、13番～18番の合計スコア、16番～18番の合計スコア、18番のスコア、4番～9番の合計スコア、7番～9番の合計スコア、9番のスコアの順で決定する。『ゴルフ規則オフィシャルガイド委員会の措置Ⅲ5A(6)マッチングスコアカード』</p>
注意事項	<p>1：バッグは口径9.5インチ、重量13キロを超えないこと。 2：グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。</p>
個人情報・肖像権に関する同意内容	<p>本選手権競技参加申し込みにより、当連盟が取得する個人情報及び肖像権は、次の目的のみに利用することに予め同意承諾することを要する。 (1) 本選手権の参加資格審査。 (2) 本選手権の開催および運営に関する業務。 これには、選手権の開催に際し、選手権関係者(報道関係者を含む)に対する参加者の氏名、生年月日、所属(所属倶楽部、所属団体、学生の場合学校および学年)、ならびに選手権の競技結果の公表。 (3) 本選手権における競技結果の記録の保存、並びに選手権終了後において必要に応じ、そのうち(2)の記載の適宜による公表。 (4) 本選手権競技(競技会場における競技に伴う前後の行事等を含む)に関して、広報(HP・会報CGA)のための公表。</p>
服装規定	<p>(1) ハウスへの来場・退場時 ○必ず上着を着用すること。(スーツ・ブレザーなど)〔7・8月は上着の着用は必須としませんが、必ず持参すること。〕 ○服装はジャンパー・ブルゾン・ジーンズ・カーゴタイプ・スウ</p>

エット・ジャージ・スリッパ・サンダル履き・つっかけは禁止。

(2) プレー時

- 安全上・健康上・必ず着帽(ひさし付)をすること。(クラブハウス内では脱帽)
- 襟付きスポーツシャツまたはタートルネックシャツを着用すること。(Tシャツ等に類似した襟の無いもの・小さいものは不可)。男性の裾出しは禁止。
- 短パン時のハイソックス着用は会場クラブの規定に従うこと。
- タオルを首に巻く・肩に掛ける・腰にさげるはしない。タオルはカートに入れるか・バッグに掛けること。

その他、会場クラブの規定に従うこと。

服装規定に違反があった場合、初回は注意し、着替えてもらうことが望ましい。改まらない場合、競技委員会は競技中を含めいつでも競技者の参加資格を取り消すことができる。

以 上